

取扱説明書

CCACBE1-1BS
CCACBE1-2BS

293-1027 (1/2)

■ 設置上の注意



ケガや事故の原因となり、人体への危険につながり得ることへの注意です。

個々に説明されているようなことは絶対に行わないで下さい。

持ち運びについて

●運搬の際、ガイドプレート固定ボルトにゆるみがないことを確認して下さい。本器分解や付属品の落下の恐れがあります。

●運搬の際、ロードセルのケーブルを持って吊り下げるのは厳禁です。断線、及び本器落下の恐れがあります。
設置場所について

●本器を設置する際は、安全面を十分考慮して作業して下さい。

●温度・湿度は下記の範囲内でご使用下さい。

周囲温度：-10℃ to 60℃

周囲湿度：85%RH以下(推奨)

●本器を取り付けるブラケット及び架台の強度は、荷重に十分耐えられる様に設計して下さい。

●本器を取り付けるブラケット及び架台は荷重を支える重要な部分ですので、施工は入念に行ってください。

●本器を取り付けるブラケット及び架台の面は、荷重方向に対し直角になる様に施工して下さい。

(架台の水平度は一般用途の場合1/2°以内、高精度を御要求される場合は1/4°以内に抑えて下さい。)

●ピット内に本器を設置する場合は、水が溜まらない様に排水対策を考慮して下さい。

●本器を屋外に設置する際は、直射日光や風雨が直接当たらない様にカバー等の保護をして下さい。

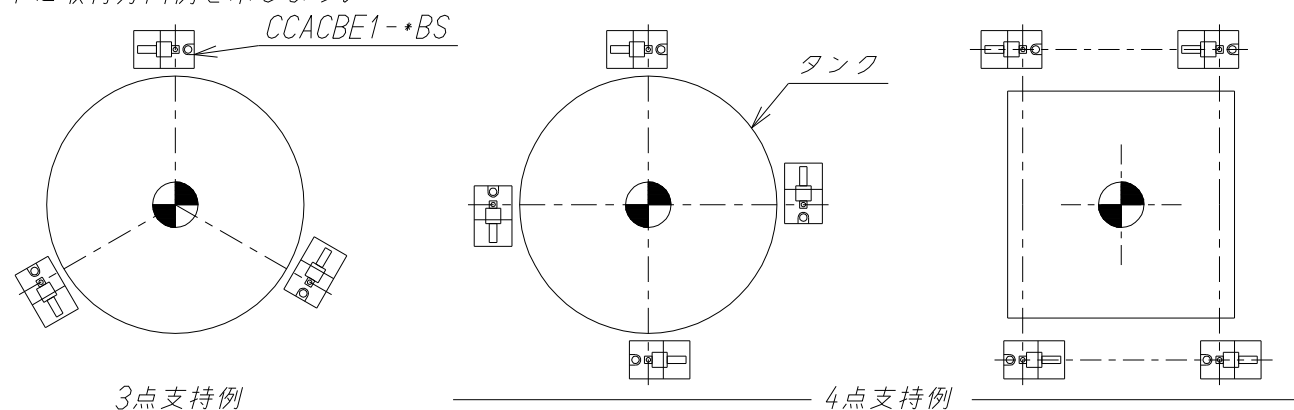
尚、メンテナンスの際にカバーを外すことが有りますので、カバーは取り外せる様な構造にして下さい。

●据え付け高さはタンクの重心位置付近を推奨します。

●攪拌機等で振動が有る場合は、ステイロッドの併設を推奨致します。

●本器を設置する際、タンクの接膨張を考慮して構造になっていますのでご注意ください。

以下に取付方向例を示します。



●設置の際、ボルトは緩み止めを考慮し、確実に取り付けて下さい。

●本器プレート部を構造物に（はり、ブラケット等）に直接溶接しないで下さい。

溶接での固定は、以後のメンテナンスが不可能になります。又、本器の仕様を損なう恐れがあります。

●ロードセルの近くで溶接作業を実施する場合は、ロードセルを取り外してから実施して下さい。

ロードセルの取り外しが不可能な場合は、溶接電流がロードセルに流れない様に溶接個所の近くにアースを取って下さい。又、安全の為ロードセルケーブルをアンプから外して下さい。

●ロードセルケーブルは配管材で保護して下さい。

外傷、薬品、洗浄により被覆劣化による絶縁不良や断線の恐れがあります。

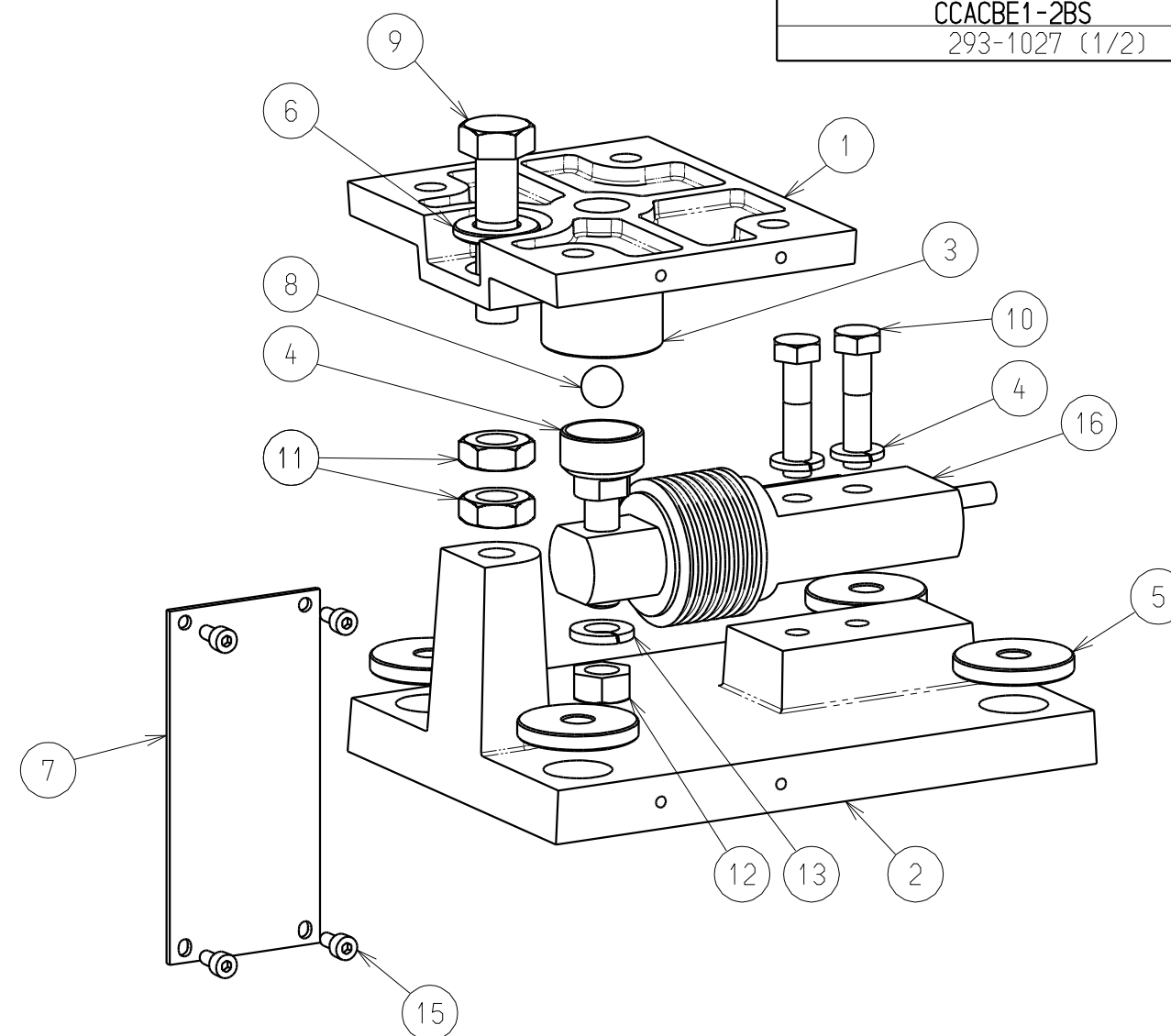
●タンクのレベル調整やロードセルの交換時にタンクを持ち上げる必要が有る為、タンクのブラケット部にジャッキアップスペースを設けてください。

●ロードセルケーブルは切らないで下さい。切りますと校正値がずれる可能性が有ります。

●ベースプレートは付属のワッシャを介して取り付けて下さい。

●取扱説明書、取り外した部品は必ず保管して下さい。メンテナンスの際に必要となります。

■ 各部名称

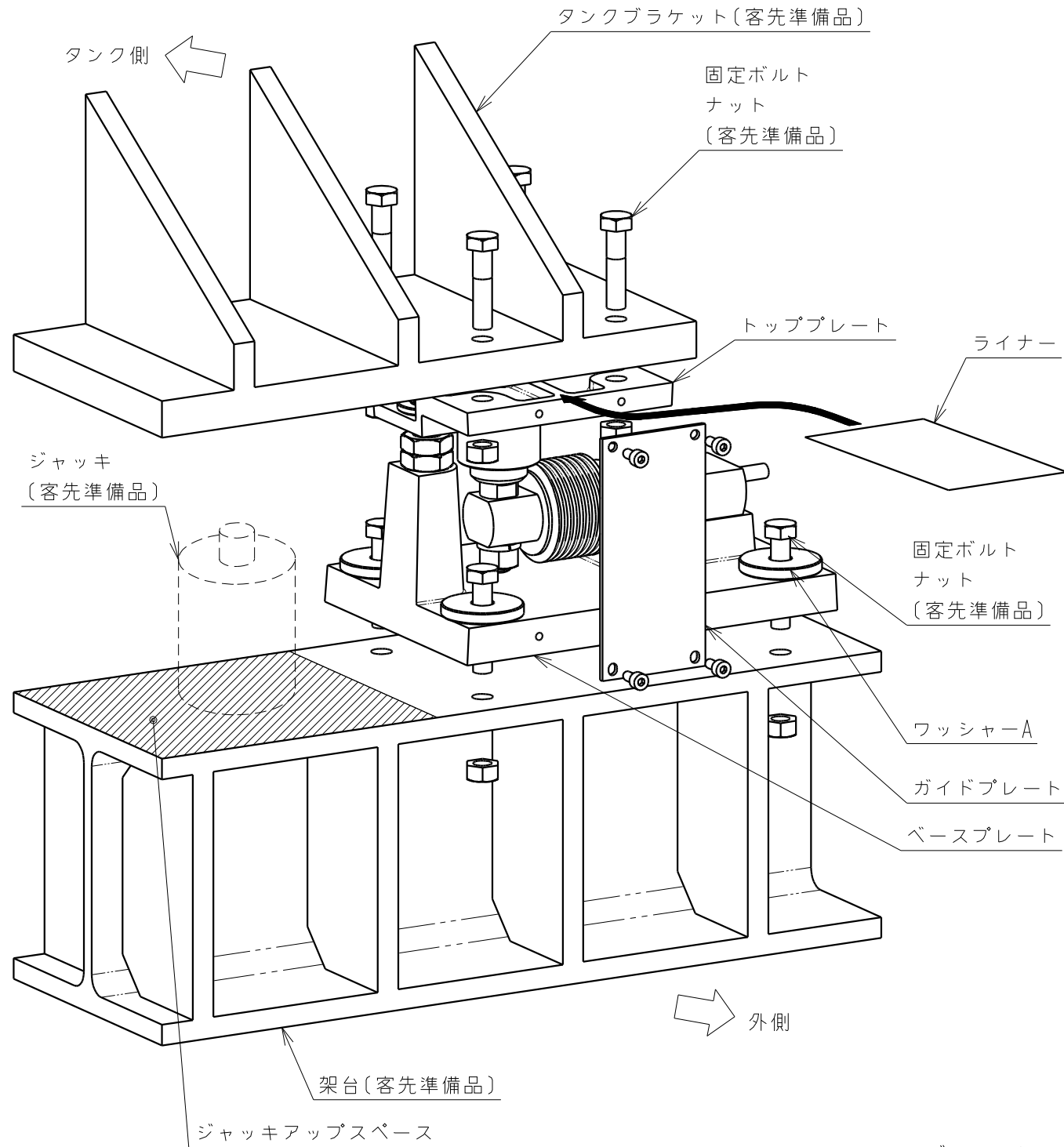


品番	品名	個数	品番	品名	個数
1	トッププレート	1	9	六角ボルト(M12)	1
2	ベースプレート	1	10	六角ボルト(1BS:M6, 2BS:M8)*	2
3	アダプターA	1	11	六角ナット(M12)	2
4	アダプターB	1	12	六角ナット(1BS:M8, 2BS:M10)*	1
5	ワッシャーA	4	13	バネ座金(1BS:M8, 2BS:M10)*	1
6	ワッシャーB	1	14	バネ座金(1BS:M6, 2BS:M8)*	2
7	ガイドプレート	1	15	六角穴付ボルト(M4)	4
8	鋼球	1	16	ロードセル(別売品)	1

*1BS=CCACBE1-1BS, 2BS=CCACBE1-2BS

■ 改訂履歴

日付	取扱説明書No.	内容
2012年 4月	DRW.293-1027	新規



■ 設置手順例

- 1, 輸送時の過負荷防止の為、輸送時過負荷防止状態図の様に上側のロックナットでトッププレートを押し上げています。設置前に上側のロックナットを下に下げ、振れ止め金具部詳細図の様なダブルナットになる様に締め付けて下さい。(推奨締め付けトルク: 76N-m)
(下側のロックナットは緩めないで下さい。)
- 2, ベースを架台に仮固定します。この際、付属のワッシャーAを介して固定して下さい。
- 3, タンクを降ろします。
(ブラケットの穴が本器トッププレートの穴位置に合う様にゆっくりと降ろして下さい。)
- 4, トッププレートをブラケットに固定します。
- 5, ベースを架台に固定します。
- 6, ガイドプレートを外します。
この時トッププレートとベースプレートの位置がずれていない事を確認して下さい。
もしずれている場合はベースプレートとトッププレートの側面が合う様にベースプレートの位置を調整して下さい。
- 7, 振れ止め金具に隙間が有る事を確認して下さい。
隙間が無い場合は、ロックナットを緩めボルトを回して調整して下さい。
調整後、ロックナットは再度締め付けて下さい。(推奨締め付けトルク: 76N-m)
- 8, レベル調整をして下さい。(詳しくは調整手順例を参照して下さい。)

注記

- ※ 架台上面の水平は ± 0.3 度以内とします。
- ※ 振れ止め金具を取り付けるブラケット側と架台側の穴が多少ずれた場合でも、取り付けが可能な様にベース側の穴を大きくしてあります。よって、ベースを取り付ける際は、付属のワッシャーを介して取り付けして下さい。
- ※ 振れ止め金具は必ずボルト・ナットで固定して下さい。
(溶接での固定は実施しないで下さい。)

■ 調整手順例

- 1, 各ロードセルの荷重バランスが均等分担に対し30% (目安) のばらつき以下になっている事を確認して下さい。
但し、重心位置が支持点中心から極端にずれている場合はその限りではありません。
- 2, 荷重バランスが悪い場合、トップケースとブラケットの間にライナーを挟んで調整して下さい。
- 3, ライナー調整した場合、トッププレートとベースプレートの位置がずれていない事を確認して下さい。
もし、ずれている場合はベースプレートとトッププレートの側面が合う様にベースプレートの位置を調整して下さい。
- 4, 振れ止め金具に隙間が有る事を確認して下さい。
隙間が無い場合は、ロックナットを緩めボルトを回して調整して下さい。
調整後、ロックナットは再度締め付けて下さい。(推奨締め付けトルク: 76N-m)

